

令和2年度（2020年度）第5回つくば市行政経営懇談会会議録要旨

議事（1）令和2年度（2020年度）つくば市行政経営懇談会提言（案）について

	意見等	対応等
1	市民が意見を言える場や機会が用意されていることが前提条件としてあり、その上で、懇談会のような公共の場で様々な議論が行われるということが本来的な在り方、大事なことだと思う。そのようなことを座長の意見として「おわりに」に盛り込んでもらいたい。	◆座長回答 「おわりに」の案については執筆が終わり次第、メールで委員に加筆修正の意見をいただきたい。
2	提言の内容を実現する手段の一つとして「第2期つくば市戦略プラン」に記載されている「未来構想キャラバン」のページがとても良い方法だと思った。このような形式で広報紙等に審議会等に関する情報を掲載すれば、市民の理解も進むのではないか。	◆座長回答 審議会等が出た意見を広く市民にも伝えることが市民参加のきっかけになるということは、前回までの協議でも出ていたと思う。提言には十分に反映できていると考えている。

議事（2）スーパーシティ基本方針について

	意見等	スマートシティ戦略室 回答等
1	つくば市のホームページに全員協議会の資料としてスーパーシティの資料が掲載されており、「学校での体調管理のデジタル化」という内容があった。コロナ禍で必要とされていることだと思うが、これはどのように進んでいるのか。	市内の小中学校、義務教育学校で、朝測った体温を用紙に書いて担任に提出していたが、これを全てスマートフォンアプリで行うことを原則とした。今は1万5千程の世帯のうち9割以上に使ってもらっている。クラスごとの体温の挙動も見ることができるため、公衆衛生学的な観点でも使えるのではないかと考えており、採択された場合はその辺りも進めていきたいと思っている。
2	【1の質問に関連した意見】 「学校での体調管理のデジタル化」のように、スーパーシティの提案をする際、既に進めている取組を発展できるということを付け加えるとプラス	子どもの体調のクラスごとの分析について、データは匿名の上で活用させてもらうという利用規約になっているが、情報の共有の範囲として、他のサービスの事業者には渡すことが

	になるのではないか。	できないということもある。いかに不快に感じない範囲でデータを共有し、別の策につなげていけるかということを考えている。
3	<p>多言語ポータルサイトアプリや健康管理など、スーパーシティにならないければ絶対にできないというわけではないものもあれば、パーソナルモビリティのように本当に10年でできるのかと思うようなものもある。地道にできることから進めていくと思うが、未来像や計画図があると実現性が実感として感じられると思う。</p>	<p>内閣府に対する申請書の中では2021年から2023年までの計画を具体的に書く。さらに、スーパーシティは2030年まで見据えたものであるため、申請書の様式に一枚追加し、2030年までの取組の計画も提出したいと思っている。</p> <p>スケジュールはでき上がった後に住民説明会が各地区で開催されるようであれば、そこでも示していきたいと思う。</p>
4	<p>配布された資料を見ると、高齢者サービスが協調されており、交通サービスと高齢者サービスを推進するような計画に見えてしまう。イメージ図にもう少し若い人の絵柄が出てくるといいのではないか。</p> <p>また、学童保育や保育所は待ったなしの需要であり、過ぎたら不要になってしまうため。そこをどう解決していくかということが重要。例えば、ロボットを使ってでも待機児童ゼロに取り組みや子供が帰宅したことを親が認識できるアプリなど、積極的に書き込んでもらえたらありがたいと思った。</p>	<p>子ども、子育てや健常者向けの取組をとという意見は住民説明会でもオープンハウスでもあり、その点についてはこれから資料に盛り込んでいきたいと思う。子どもの見守りについても需要があると思う。連携事業者の人から提案いただいていることもあり、資料に盛り込めたらと思う。</p> <p>高齢者が中心になっているように見える資料は反省点だが、逆に高齢者が取り残されると思われることは本末転倒。スーパーシティはあくまでも地域の課題の解決のために行うことである。高齢者以外の人について、次の資料では盛り込みたいと思う。</p>
5	ICT (Information and Communication Technology「情報通信技術」)、タブレットを使うとなった際、トラブルがあったらすぐに解決してくれるサポーターを公民館等に常時配置し、そこに行けば助けてもらえるというような、ICTインフラの部分も考えているのか。	資料3の「デジタルインフラ整備」に「スマホアドバイザー配置」とある。タブレット等の使い方を相談できる人を地域に配置したいということでこのような表記をした。まだ詳細は決まっておらず、常駐でなくても有償のボランティアが必要だと思っているが、常駐配置ということも御意見とし

		て承り、検討していきたいと思う。
6	多方面に展開したいということも大切だと思うが、間違いなくこれは使いやすい、移行したほうが市民として便利だというサービスを一つ一つ吟味していってもらいたい。それがサービスを社会に実装していくということに繋がると思う。法規制を乗り越えて新しいサービスを導入するという考え方も大事だが、細かい不便を拾い上げていくことも進めてもらいたい。	規制緩和事項がスーパーシティのトップにあり、今までのルールを変えて取り組むということが目立つようになってきているが、規制がかかっているからできないわけではなく、そのような仕組みになっていないからできないということが多くあるので、その辺りについてもわかりやすく表現していきたい。
7	教育に関しても何らかの言及ができるといい。小学校2年生以上にタブレットを配布しようとしていると思うが、スーパーシティになるとさらに進むというようなことも書いてもらえると、子育て世代や子どもたちにとって実感できるスーパーシティになってくるかと思う。	スーパーシティの提案の際にできるかわからないが、選挙の投票の仕組みを学校でも使っていくというようなところから、何か学校との連携を始められないかと思っている。
8	目標が2030年ということで、これからつくば市を作り上げていく子どもたち向けの取組を盛り込んでほしい。待機児童の話もあったが、幼稚園の入園申し込みの手段としても使えるといいと思う。不登校や学校に行きにくい子や障害を持つ子も先端的な教育サービスを使うことで、より自分の未来を考えていくことができると思う。また、高齢者だけでなく、貧困家庭の子どもにもスマホを貸与することも考えてもらえると、つくば市らしさを出せるのではないかと思う。	子育て世代向けに子どもも含まれると思い込んでいたが、子どもに発信するという観点が抜け落ちていた。重要なポイントだと思う。障害者向けについても高齢者向けと重なる部分はあるが、資料に言葉として出てこなければ気付くことは難しいため、その辺りも考えていきたいと思う。貸与のアイデアについても御意見として受け取りたいと思う。
9	先端技術と高齢化という両極端のテーマが取り上げられているが、高齢化率20%というような中間の地区もある。そのような表に出ないところに対し、これからの取組をどう水平展開できるのかということも考えてもら	効果のあるものは他地域にも広げると書いてあるが、具体的にどう横展開していくのかという計画を立てなければいつまでも横展開されないため、考えたいと思う。様々なサービスがあるが、実地の効果を評価していく

	<p>えないと、市の中でいびつな形ができていってしまうのではないかと心配している。</p> <p>また、中心部が注目され、テーマとして扱われることが多いが、道路事情が悪いところで通勤、通学しているような人たちにどのように効果を波及していくかということも課題として残してもらいたい。</p>	<p>ような仕組みを最初の段階から織り込めないかと思っている。</p> <p>他の地域に展開する先についてもあらかじめ基準を決めておき、明確な基準で進めたいと思う。</p> <p>条件が整っていないところについてはインフラ整備等併せて行っていく必要があり、計画の段階から盛り込んでいくことが必要だと思う。</p>
10	<p>ネット環境が整っている家庭とそうでない家庭がある。「子ども自身が安心して大人になれるまち」というように進めてもらえればと思う。</p> <p>子ども食堂が市内にあるが、ボランティアベースであるため、どれも月1回程しか開けていないようだ。網から落ちてしまいそうな子たちを救い上げるということにも目を向けてもらえるといい。</p>	<p>ネット環境は重要であり、就学援助世帯にはルーターを配るということになったと思うが、基準が難しい。どうすれば本当に困っている人たちに行き渡り、このようなサービスが展開されていくことで格差が広がるということにならないか、縮められるかということは考えていきたい。</p> <p>今はまだ構想に盛り込めていないので、どのように反映できるか考えたいと思う。</p>
11	<p>タブレットは何歳の人に配布する予定か。</p>	<p>まだ決まっていない。小田と宝陽台の所有者数や予算等も見ながら決めていきたいと思う。</p>
12	<p>災害時の避難所となっている廃校の体育館は古く、人が多く入れるようなところでもなく、また、コロナ禍ということもあり不安がある。スーパーシティになったときにはどのようになるのかと思う。</p>	<p>スーパーシティとしては、災害が起こった際に避難所の状況を見ることができればと思っている。避難所が開設されたか、どのような物資が届いているか、キャパシティや人数、混雑状況等を優先的に見ることができるようということを考えている。</p>
13	<p>サービスの全てが電気で賄っているものだと思うが、災害の際にはほぼ使用できなくなる。そのような場合にはどうするかということもスーパーシティとして考えてもらえるといい。</p>	<p>災害時には電気を使えない問題があり、スーパーシティのインフラ整備の中で考えていきたいと思う。蓄電と輸送できるエネルギーになり得るものを備えておくことが同時に進めなければいけないインフラ整備だと考えている。</p>
14	<p>高齢者と同居している人、介護している人に対して、例えばパワースーツ</p>	<p>ロボットスーツを試しに使ってもらうという既存の事業は行った。残念</p>

<p>を普及するというようなことは行わないのか。タブレットが欲しいという家庭もあれば、介護を補助するものが欲しいという家庭もあると思うが。</p>	<p>ながら利用率は低かったが、試してもらおう機会を作ることで、使ってみようと思ってもらえると思う。その辺りの普及についても何かできないか考えてみたいと思う。</p>
---	---